金子みすゞさんの心　　vol.31

2026年10月
野毛山幼稚園

雲

金子みすゞ

私は雲に
なりたいな。

ふわりふわりと
青空の
果から果を
みんなみて、
夜はお月さんと
鬼ごっこ。

それから飽きたら、
雨になり、
雷さんを
供につれ、
おうちの池へ
とびおりる。

朝夕涼しくなり、秋の訪れです。
秋は空が高い…と言われます。秋は空気が乾燥して、塵や水蒸気が少なくなり、そのために空気が透明になり、青空が鮮やかに見えて、視覚的に空が高く感じられるのだそうです。
空を見上げると、空気が澄んでいて本当に気持ちいいです。
空を見上げることができるということ、それは、心に余裕があるときでしょうか‥‥
雲一つない青空もあれば、違う空もある。 青空に雲があると雲と青空のコントラストがはっきりしています。
雲を見ると、いろいろな雲があります。名前がついている雲もありますが、何かの形に見えたり、動いていたり、じっと見ていると面白いものです。

この「雲」という詩で、みすゞさんは、雲になってお月さんと一緒に鬼ごっこをしたいと言っています。
それが飽きたら、雨になって雷さんと一緒にお家の池に飛び降りると言っています。
なんて自由なのでしょう。 自由になって飛んで、そして、結局はおうちの池に飛び降りる…
みすゞさんは、やはり、おうちが好きなのでしょう…
帰るところがあるって、いいですね。 それがおうちって嬉しいですね。

2026年10月9日の空

10月10日

10月15日

10月16日